



Network Positioning System の一般的な設定

Network Positioning System (NPS) の設定では次のタスクを実行します。

- 1 NPS と通信できるようにルータを設定する。これには、ルータに対するホスト名の割り当てもあります。
- 2 データセンター (DC) に対向する 1 台のプロバイダーエッジルータ (PE) に対して eXtensible Messaging、Presence Protocol (XMPP) サーバを設定する。
- 3 1 台の DC-Facing PE に対してサービス解決エンジン (SRE) を設定する。
- 4 SRE を設定したときと同じ DC-Facing PE に対して機能ディレクトリ (CD) を設定する。
- 5 ルータ上で実行するパフォーマンスマネージャ (PFM) を設定する。この設定は、DC-Facing PE を設定するか、カスタマーエッジルータ (CE) に対向する PE を設定するかによって異なります。
- 6 プロキシミティエンジン (PXE) でのプロキシミティの計算にルーティングプロトコルを使用できるように、ルータに対してそれらのルーティングプロトコルを設定する。

このモジュールでは、ルータが NPS と通信できるようになるうえで必要となる基本的な設定について説明します。その他の設定作業については、このマニュアルの以降のモジュールを参照してください。

- [PE での基本的なネットワーキングの設定, 1 ページ](#)

PE での基本的なネットワーキングの設定

システムにある CE-Facing PE および DCE-Facing PE のそれぞれに XMPP サーバからアクセスできるようにするには、次の設定が必要です。

手順の概要

1. **hostname** *hostname*
2. **ip host** *hostname ip-address*
3. **ip name-server** *ip-address*
4. **interface** *interface-name*
5. **ip address** *ip-address mask*
6. **no shutdown**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	hostname <i>hostname</i> 例： server(config)# hostname ccnsr.com	ルータのホスト名を設定します。
ステップ 2	ip host <i>hostname ip-address</i> 例： server(config)# ip host ccnsr.com 172.16.0.2	実行している XMPP サーバの IP アドレスを指定します。
ステップ 3	ip name-server <i>ip-address</i> 例： server(config)# ip name-server	ネーム サーバのアドレスを指定します。 ip host コマンドを使用しない場合にのみ、このコマンドが必要です。
ステップ 4	interface <i>interface-name</i> 例： server(config)# interface gigabitethernet 0eth0 server(config-if)#	インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始してインターフェイスをイネーブルにします。
ステップ 5	ip address <i>ip-address mask</i> 例： server(config-if)# ip address 172.17.0.3 255.255.255.0	インターフェイスの IP アドレスを設定します。
ステップ 6	no shutdown 例： server(config-if)# no shutdown	インターフェイスをイネーブルにします。

次の作業

XMPP サーバを設定します。